

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

学びがふるさとを育て、ふるさとが学びを育てる ～ 大槌学園 授業交流会 ～

10月5日(火)に、大槌学園で「ふるさと科」の授業交流会が行われました。コロナ禍で、地域の皆さまになかなかお見せすることができずにいましたが、現在の子どもたちの学びの姿を、3つの学級で行われたふるさと科の授業の様子を通して紹介します。

2年生 「地域とのつながり ～ 町たんけん ～」

大槌町内のお店にどんなものがあるか、どんな人が働いているかを調べました。自分たちの知らないことがまだまだたくさんあることが分かり、2回目の町たんけんインタビューすることをみんなで話し合いました。



大槌の町には
いろんなお店があるね!



大槌のために、
どんなことを
がんばっているかを
聞こう

6年生 「3・11 ～ 学ぶ・つなぐ ～」

実際に震災を体験した方や復興に携わった方の話を聞いたり、インタビューしたりすることで、ふるさとに起きたことを知ることができました。そのことを踏まえて、これからの生き方や大槌と自分の関わり方について考える授業になりました。

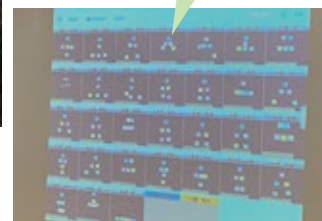


ゲストティーチャー
に、語り部の神谷さん
をお招きし話を
ききました



タブレットも
使いこなしているよ

みんなの意見を、まとめて
電子黒板で見ることができます



9年生 「自分と向き合う ～ 避難所運営体験学習を通して ～」

町の指定避難所にもなっている学園では最上級生である9年生が、災害時に地域の一員として行動できるように避難所運営訓練を行っています。その訓練を実施するにあたって、「自分たちができることは何か」を考え、授業の中で一人一人が意識を高めることができました。



先輩たちの体験の記録から
課題を見つけてみよう



他の係との連携を
スムーズにするには
どうしたらいいだろう

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします!



大槌高校
ホームページでも
行事の様子を
発信しています!

オンラインを活用した新しい学びの形

大槌高校ではここ数ヶ月でオンラインを活用した学習環境が整備され、1人1台のノートパソコン利用、個別のアカウント利用が可能になりました。今回は、オンラインを活用した様々な取り組みについて紹介します!

授業内での取り組み

各教科では、担当の先生ごとに工夫を凝らした授業が行われています。国語の授業では関西の高校とオンラインで接続し、大槌の方言と関西の方言の特徴や違いについて生徒同士が語り合う取り組みが行われました。また、数学の授業では、大学進学を目指す生徒向けに、先生が自ら撮影した解説動画付きの対策プリントが配布されています。そのプリントを活用している生徒からは、「家に帰って分からない問題があってもすぐに解説を見れるのでとても助かっています」という声が聞かれました。



探究学習では、1人1台の環境が整ったことにより、調べ学習や発表資料のまとめ、課題の提出などが、すべてオンライン上でできるようになりました。また、2年生の三陸みらい探究では、山形県と熊本県の高校と連携をして、生徒同士が自分の探究テーマについてお互いに学び合う「オンライン探究交流会」という取り組みが行われています。参加した生徒からは「同じ高校内ではあまり出会えないような、興味関心が似ている生徒と出会えて嬉しかった」という感想が聞かれました。

課外活動での取り組み



オンラインを活用した学びは、授業内だけに留まらず、課外活動でも行われています。9月には、生徒会執行部の生徒が、大阪府立桜塚高校の生徒と交流し、「コロナ禍における生徒会活動のあり方」について意見交換を行いました。また、10月からは「小規模校サミット」という活動に希望した10名の生徒が参加し、全国にある大槌高校と同規模の高校約20校の生徒と交流を行っています。

教員同士の勉強会



急速に変化していく学習環境に対応するべく、教員同士での学び合いも積極的に行われています。9月に行われた勉強会では、担当教科の異なる4名がそれぞれの授業実践例を共有し、教員同士で意見交換を行いました。参加した教員からは「事例をたくさん知れたことによって、自身の授業に活用できるノウハウを学ぶことができた」といった感想が挙がりました。